Perica synths SAMPLE DRUM サンプルドラム

Erica Synths Sample Drumをお買い上げいただきあり がとうございます! Sample DrumはErica Synths Techno Systemの一部

ですが、それ以外のライブパフォーマンスシステムでも 十分に使用できると確信しています。

Sample Drumはライブパフォーマンスを念頭に置いて設計されてお り、直感的なインターフェイス、機能性、優れた音質を備えた14HPの ユーロラックサンプルプレーヤーモジュールです。

2つの同じパーツで構成されており、モジュラーシステムで直接サンプ ルやループを再生、記録、スライスすることができます。処理にはさ まざまな再生モード、チューニング機能(1V/OCT のピッチトラッキ ングを含む)、バーチャルVCAとADエンベロープ、およびリアルタイ ムエフェクトがあります。各チャンネルに3つの自由に割り当て可能な CV入力があるので、パフォーマンス中に多くの表現を保証します。瞬 時の再生応答のために16ビットのモノラルのウェーブサンプルがSD カード(出荷時プリセットサンプル付きの16 GB SDカードが付属して います)からRAM(32MB/5分のサンプリング時間)にロードされま す。ライブ演奏中でもすべての設定を保存したり呼び出すことができ ます。

FEATURES 特徴

2つの同時サンプルプレイヤー	
高速トリガーレスポンスによるサンプル再生	
手動および自動サンプルスライス	
1V/OCTトラッキング	
チャンネルごとに3つの割り当て可能、設定可能なCV入力	
リアルタイムサンプル処理のための様々なエフェクト	
サンプル録音	
WAVファイルからのキューポイントロード	
プリセットメモリー	
ユーザーフレンドリーなインターフェース	
工場出荷時のプリセットサンプルを含む16 GB SDカード付属	

SPECIFICATIONS ttk

オーディオ出力振幅	10Vptp
オクターブ範囲	C0 - C8
RAM サイズ	32Mb/5分のサンプル
サンプルレート	48kHz, 16bit
サンプル録音レート	48kHz, 12bit
CV入力範囲(設定可能)	$-5V \sim +5V$
パネル幅	14HP
モジュールの深さ	30mm
消費電力	65mA @+12V, 2mA @-12V



 これは最初のチャンネルの手動トリガーボタンです。 2これは2番目のチャンネルの手動トリガーボタンです。 また、二次機能にアクセスするのはSHIFTボタンなので、 手動トリガーはパフォーマンスモードでのみ 機能します。 OLEDスクリーンはモジュール機能を表示します。 4 SDカードスロットはサンプルのアップロードに使用される マイクロSDカードを受け入れます。 カードの向きを確認してください。 5 2つのチャンネルから選択してください。 2つのサンプルを同時に演奏することができます。 6つのエンコーダ(A~F)は、動作モードに応じて機能が 変わります。エンコーダAは常にメインの選択/データ エンコーダです。エンコーダDをクリックすると前のメ ニューページに戻ります。 🌈 これらはトリガー入力です。 8 これらは割り当て可能なCV入力です。 各チャンネルには 3つの自由に割り当て可能なCV入力があります。2番目 のチャンネルのCV3はサンプル録音用のオーディオ入力 として使用されます。 ♀これらはモジュールの音声出力です。



メインメニューからSample Drumの主な機能にアクセスできます。 A/DATAエンコーダーを使用してアイコンをスクロールし、クリック して関連メニューにアクセスします。メインメニューに戻るには、 D/BACKエンコーダーをクリックします。

LIBRARY MENU – SAMPLE LOADING ライブラリメニュー - サンプルローディング



瞬時にサンプルを再生するために、サンプルはモジュールのRAMにロードされます。 このモジュールには ファクトリープリセットサンプルライブラリの16Gb microSDカード (アダプタ付き)が付属しています が、ユーザー独自のサンプルを使用することもできます。 サンプルはwav/モノラル/48kHz 16bitレゾルー ションです。 低いサンプルレートのサンプルも同様に機能し、異なるサンプルレートのサンプルで正しい 速度で再生されるように補間されます。 例えば、RAMを節約したい場合は22KHzのサンプルレートの サンプルをロードすることができます。これでサイズが2分の1になります。 ステレオファイルの片側をロードすることもできます。 シングルファイルをロードする場合はどちら側 (Lま たはR)をロードするかを尋ねられますが、フォルダ全体をロードする場合はステレオファイルのLサイドが 自動的にロードされます。

A/DATAエンコーダーを回してLIBRARYメニューに移動します。 エンコーダA/DATAをクリックすれば microSDカードのサンプルリストにアクセスできます!



左側ではSDカードのコンテンツにアクセスできます。 サンプルまたはシステム情報(<SYSTEM>、 <VOICE>)を含むフォルダはリスト内の名前として、括弧内に個々のサンプルとして表示されます。 A/ DATAエンコーダーを使用してリスト内のサンプルをナビゲートし、早急に押してサンプルをモジュールの RAMに追加します。 サンプルはエンコーダのリリース時にアップロードされます。 フォルダからサンプル をアップロードするには、エンコーダをクリックしてフォルダを開きサンプルを選択します。 メインリスト に戻るにはフォルダの一番上に移動してA/DATAエンコーダを押します。 フォルダからすべてのサンプルを 同時にアップロードすることができます。A/DATAエンコーダを押して1秒ホールドすると、フォルダ内のす べてのサンプルがRAMにアップロードされます。 コンテンツをアップロードするには、フォルダを開く必 要があります。

注: すべてのサンプルはSDカードの"SAMPLES"フォルダに保存されている必要があります。

(SD CAR	ins I os	1 HZ (
HUMAN E HUMAN E KTCK19		
CICK21. KICK22.		
RDD	RECORD	REMOVE

サンプルをチャンネル1/2の両方に個別にアップロードする必要があることに注意してください。スイッチ を使用してチャンネルを選択し、サンプルをアップロードします。 ポップアップ画面はどのチャンネルが現 在アクティブであるかを知らせます。 右上のメッセージはRAM使用量を示します。 両方で同じRAMを共有 していることに注意してください。

[SD CARD]	RAM 3%
KICK21. WAL KICK22. WAL	2.VOICE3. W 3.FX2. WAV
KICKE. WAV 🏾	4
LOOP1. WAV	5.LOOP1. WA
MACHINE GL	6.KICK22. W
RDD REC	ORD REMOVE



Cエンコーダーを使用してRAM内のサンプルをナビゲートします。 Cエンコーダーを押すとサンプルを削除 できます。 新しいサンプルは空のスロットにしかロードできないため、Cエンコーダーを使用して空のス ロット(リストの末尾、またはリストのサンプルが削除されている場合はリストの中央)に移動し、A/ DATAエンコーダを押しアップロードします。対する側(1または2)のRAMからすべてのサンプルをクリア するには、Cエンコーダーを押してホールドします。

サンプルを聴くにはTRG1/PLAYボタンを押してください。 SDカードとRAMの両方でサンプルをプレ ビューすることができます - モジュールは最後に選択されたサンプルをプレビューします - サンプルのリス トをナビゲートするためにはA/DATAとCのエンコーダを使用してください。 サンプル波形、サイズ、長さ をプレビューするにはTRG2/SHIFTを押してください。

 \bigcirc

SAMPLE MENU – WORKING WITH THE SAMPLES サンプルメニュー - サンプルの使用



SAMPLE MENU – AUTOMATIC SAMPLE SLICING サンプルメニュー - 自動サンプルスライス



1



サンプルスライスを有効にするにはA/DATAエンコーダーを押します。 スライシング画面が表示され、エ ンコーダーで機能を変更します。 スライスモードを終了するにはA/DATAエンコーダーをもう一度押しま エンコーダA/DATAを回してRAMからサンプルを選択します。 スライスはサンプルとともにRAMに す 保存され、SDカードのサンプルではなくプロジェクト内に保存されます。

- エンコーダCを回してスライスモード(SMODE)を選択します。 自動スライスに使用できる モードは次のとおりです。
- ■リニア(左側の画面のLIN) サンプルは一定数の同じ長さのスライスにスライスされます。
- ■ゼロクロッシング(ZCなど) サンプルは定義された数のスライスにスライスされますが、スライスはで きる限りゼロクロッシングポイントに近い位置に配置されます。 このスライスモードでは、スライスから スライスへ進むときのクリック音が最小限に抑えます。 完璧に100%スライスするためには、スライスポ イントを手動で編集する必要があります。

SAMPLE STEP SMODE VOICES AND	エンコーダのD/BACKを回してスライス数を選択します:1~32
SAMPLE STEP SMODE VOICES AND LIN ₁₅	エンコーダFを押して、定義した数のスライスにサンプルをスライスします。
SAMPLE RND SMODE UDICES AND LIN ₁₆	スライスが着信トリガーで再生される順序になるように、エンコーダBを回してスライス再生モードを選 択します。 利用可能なモードは以下のとおりです: FWD(フォワード) - スライスは左から右へ順番に再生されます。 BKW(バックワード) - スライスは右から左へ順番に再生されます。 RND(ランダム) - スライスは右から左へ順番に再生されます。 CV(CVコントロールプレイバック) - CV設定はスライス数と受信CVによって均等に分割され、 どのスライスが再生されるかが定義されます。 このモードではCV定義のスライスを実際に再生するため に着信トリガーが必要です。 NONE - 最初のスライスだけが再生されます。 エンコーダEを押して、スライスの再生を最初のスライスにリセットします。 CVスケールが1V/Octに設 定されている場合、C-0から始まる最初の32音が最初の32スライスを演奏します。 ナイスなトリックとしては1小節の長いループを準備し、それらを16スライスにスライスしてから、毎ク ロックティックでトリガーすることです。これによりループをBPMに「同期」させることができます。 トリガーを使って再生を最初のスライスにリセットすることもできます。そのためにはスラ イスリセット用にCV入力の1つを設定する必要があります。 このマニュアルのCV割り当て の手順を参照してください。



サンプルがスライスされたら、エンコーダA/DATAを押すとサンプルプレイ画面が表示されます。 22 では連続して再生されるスライスを選択することができます - 最初のスライスを選択するためにはエン コーダD/BACKを回し、最後のスライスを選択するためにはエンコーダFを回します! エンコーダEを回して(開始と終了)両方のスライスポイントを同時に制御します。

SAMPLE MENU – MANUAL SAMPLE SLICING For the state of the



- 64





サンプルのプレイバック設定、スライス、およびプレイモードの設定はすべてプロジェクトとともに保存 されます。 詳しくはPROJECTS メニューを参照してください。

SAMPLE RECORD MENU – SAMPLING サンプルレコードメニュー - サンプリング





SAMPLE DRUM



ENTER NAME:

REC		1
BBCDEFG	HIJKI	_MNOP
9RSTUVW	XYZO:	12345
6789	CLR	0K

満足する結果が得られたら、エンコーダA/DATAを押すとモジュールは録音されたサンプルの保存モード に進みます。 サンプルの名前を入力することができます(名前の入力方法については、PROJECTSメ ニューを参照してください)。 録音したサンプルは、SDカード内<SAMPLES>フォルダーの中の専用の <REC>フォルダーに保存されます。

レコーダーのサンプル編集モードでは、録音したサンプルを操作できます: エンコーダCを回してサンプルをズームします。 エンコーダBを回して、画面上でサンプルを動かします。 録音全体ではなくサンプルのスライスを保存する場合は、エンコーダのD/BACKを回してサンプルの開始 点を移動します。 エンコーダFを回してサンプルの終点を移動します。 エンコーダFを回して、エンコーダD/BACKとFで定義されたサンプルのスライスを移動します。 TRG1ボタンを押すと、選択したサンプルをモニターできます。

FX MENU – EFFECTS FXX=1-- T7T2P



エンコーダA/DATAを回してサンプルに適用したいEFFECTを選びます。 利用可能なエフェクトは以下のとおりです: DELAY、REVERB、LOWPASS FILTER、HIGHPASS FILTER、BITCRUSH、FOLD、 DRIVE、NONE - エフェクトはパイパスです。各エフェクトには3つのパラメータがありエンコーダ D/BACK、E、FIC よって手動制御できます。またはCVがエフェクトパラメータに割り当てられている 場合は、CV制御できます(CVアサインメニューを参照)。 注! フィルターエフェクトでは、エフェクトを完全に聴くためにdry/wetをfull wetの位置 に設定する必要があります。

AMPLITUDE menu – ENVELOPES アンプリチュード メニュー - エンベロープ



エンコーダーA/DATAを使用してAMPLITUDEメニューに進み、押して確定します。

エンコーダA/DATAを使用してEFFECTメニューに移動し、押して確定します。

ここではトリガーされたときに各サンプルまたはスライスのエンベロープをコントロールできます。 画面下段の3つのバリアブル(ATTACK、HOLD、DECAY)はエンコーダD/BACK、E、Fにリンクされ、上段の3つ(A-SHP、RANGE、D-SHP)はエンコーダ A/DATA、B、Cにリンクされています。

- 5-

 \mathbf{Q}

 \mathbf{Q}

SAMPLE DRUM



エンベロープのRANGEを選択することから始めましょう! エンコーダBを回してSHORT(最大アタッ ク、ホールド、ディケイタイムは1秒)、MID(最大アタック、ホールド、ディケイタイムは3秒)、 LONG(最大アタック、ホールド、ディケイタイムは10秒)、またはRELATIVEから選びます。 RELATIVEモードはサンプルスライスに特に便利です。 アタック、ホールド、ディケイタイムは、サンプ ルまたはスライスの長さによって自動的に定義されます。 スライス数を変更すると、エンベロープ時間が 自動的に変わります。 RELATIVEモードのデフォルト設定はAttack-0秒、100%Hold time、Decay time-0秒です。



エンコーダーA/DATAを回してアタックタイムを調整、エンコーダーBでホールドタイムを調整し、エン コーダーCでディケイタイムを調整します。 ループモードではディケイ設定でループがフェードアウトする 時間を定義します。 無限ループするために、ディケイタイムはデフォルトでは100に設定され ています。 これはサンプルがすべての長さを再生すると言う事です。



エンコーダA/DATAを回して、アタックシェイプをエクスポネンシャル(-50設定)からリニア(0設 定)、ロガリズミック(50設定)に変形します。 エンコーダCを回して、ディケイシェイプをエクスポネンシャル(-50設定)からリニア(0設定)、ロガ リズミック(50設定)に変形します。

すべてのエンベロープ設定は、個々のサンプルではなくチャンネルとともに保存されます。 詳しくは PROJECTS メニューを参照してください。

CV ASSIGN MENU - CV MAPPING CV割り当てメニュー - CVマッピング



エンコーダA/DATAを使用してCVメニューに移動し確定します。



CVメニューでは、3つのCV入力のそれぞれをSample Drumの異なるパラメーターに割り当てることがで きます。 チューニング、再生モード、サンプル選択、スタート、ループとエンドポイント、エンペロープ アタック、ホールドとディケイなどがあります。また、アッテネーターを使ってモジュレーションデプスを 調整することもできます。



エンコーダBを回してCV2入力をいくつかのパラメータに割り当て(左の例ではSAMPLE SELECTがパ ラメータとして選択されています。)、エンコーダを押して確定します。 既に(CV1に)割り当てられた パラメータを次のCV入力に割り当てることはできません。 左の例ではTUNEはすでにCV1が割り当てら ArCNるため、CV2では使用できません。 エンコーダCを使用してCV3をいくつかのパラメータに割り当てるのも同じロジックです。 CV入力にLEVELを割り当てると、サンプルの音量をCVでコントロールできるということになります。つ まり、VCAの役割という事です。 これでエンコーダD/BACK、E、Fを使用して、それぞれCV1、CV2、CV3のレベルを調整できます。エ

ンコーダはアッテネータとして機能します。





小さい画面はオシロスコープとして機能し、入ってくるCVを表示します。 また、スコープは設定したCVスケールに対して変わることにも注意してください。 たとえば、着信CV信 号を歪めずに着信信号がウィンドウの上下部に届いている場合は、正しいCVスケールを設定したことに なります。

たとえば、-5Vから+5Vの正弦LFO信号を送信し、CVスケールを-5Vから+5Vに設定すると、波形はス コープウィンドウの上部と下部に到達します。

正弦波LFOの正しい設定:



正弦波LFOの設定が間違っています:



1000



2番目のチャンネル(下段のCV1、CV2、CV3)を割り当てるには、スイッチをチャンネル2に切り替え て、上記の割り当て操作を繰り返します。 割り当てたCVの行き先とレベルの設定は、PROJECTSに保存することができます。 これは特にライブパ フォーマンスで役立ちます。

CV入力設定を変更するには、shiftを押しながらエンコーダA、B、Cを回します。

SHIFTを押しながらエンコーダA、B、Cを回してCV入力範囲を調整することもできます。

利用可能なCV範囲は以下のとおりです: -5V ~ +5V - 大抵のLFOモジュールで使用される最も一般的な電圧範囲 -10V ~ +10V - あまり一般的でない、一部のLFOの電圧範囲 0 ~ +5V - Malekko Voltage Blockのような、シーケンスされたLFOで使用される一般的な電圧範囲 0~ +10V - エンベローブジェネレータから通常出力される電圧範囲 1V/Oct - ほとんどのシーケンサーで使用されている電圧範囲(これにはデプス設定はありません。)

注! 1V/OctとSMPに設定した場合: SAMPLE - C-0から64のノートで64サンプルを選択 1V/OctとSLICEに設定した場合: INDEX - C-0から始まる32のノートで32のスライスを選択



SAMPLE DRUM

()

PROJECTS MENU – SAVING PERFORMANCE SETTINGS

プロジェクトメニュー - パフォーマンス設定の保存





()

SETTINGS MENU - MAIN SYSTEM AND USER SETTINGS



TR1とTR2のディレイ: 使用するシーケンサーによってはCVまたはトリガー信号がレイテンシーで到着する可能性があるため、この設定では受信トリガーを遅らせることができます。 トリガーディレイを調整することで、レイテンシー と正確なタイミング間の「スイートスポット」を見つけることができます。設定はプロジェクト内に保存さ れます。

自動キャリブレーション: CV入力からすべてのケーブルを外し、エンコーダーEを押して確定し、自動キャリブレーションプロセスを 開始します。これでCV入力がキャリブレーションされます。

AUTOLORD: 🖸

TRI DELAY: 🛛 MS TR2 DELAY: 0 MS

CALIB DETECT

[E]

FIRMWARE **UPDΛΤΕ** ファームウェア アップデート

NEW FL RUN BOOTLORDER? CURRENT: 1.0 NEW 1.1 YES [A]

ERASING

サンプルドラムの電源を切ります。 最新のファームウェアファイルをSDカードのルートディレクトリにコ ピーし、モジュールにSDカードを挿入して電源を入れます。 モジュールは自動的にSDカードの最新のファームウェアバージョンを検出し、すでにインストールされて いるものと比較します。

ファームウェアのアップデート手順を開始するにはエンコーダA/DATAを押します、ファームウェアの アップデートを中止するにはエンコーダCを押してください。 ファームウェアファイルのみが置き換えら れ、SDカードとモジュール内のすべての設定とサンプルは変更されません。

アップデートが完了したらAエンコーダを押す、もしくはモジュールの電源を切り、もう一度電源を入れ ます。最新のファームウェアの優れた機能をお楽しみください!

ʹͱϩϫϒ ISTRUCTIONS 下記のErica Synthsモジュールの使用に関する指示に従ってく 動作を約束し、Erica Synthsからの保証を確実にするためです。 安全についての案内

下記のErica Synthsモジュールの使用に関する指示に従ってください。これらがモジュールの適切な



防水加工されていない限り、水はほとんどの電気機器にとって致命的です。 このErica Synthsモジュールは湿気の多い場所や湿った場所での使用を意図 したものではありません。 液体やその他の導電性物質がモジュールに入ってはいけません。 もしこのような事が起こった場合は、モジュールを直ちに主 電源から切り離し、資格のある技術者によって乾かし、調べ、清掃してください。

ールを+50°C以上、または-20°C以下の温度にさらさないでください。極端に低い温度でモジュールを運搬した場合は、1時間室温に置いてからプラ グを差し込んでください。

装置は慎重に移動し、落としたり、倒したりしないでください。 視覚的な損傷があるモジュールには保証は適用されません。

返品、交換、および/または保証修理のために弊社に送付するモジュールはすべて、オリジナルの梱包に入っている必要があります。 そうでない場合は拒 否され、送り返されます。必ずオリジナルの梱包材と技術文書を保管してください。

このデバイスはEUのガイドラインに準拠しており、鉛、水銀、カドミウム、クロムを使用せずにRoHSに準拠して製造されています。 それにもかかわら ず、この装置は特別な廃棄物であり、家庭ごみへの処分はお勧めできません。

Erica Synthの保証期間は **WWW.ericasynths.lv** でご確認いただけます。 返品、交換、および/または保証修理のための品目は、以下に送付する必要があります。

Erica Synths Andrejostas Str. 43 Riga Latvia LV-1045

ユーザーマニュアル: Girts Ozolins @Erica Synths デザイン:Ineta Briede @BLACK8 日本語訳: Tadayuki Hirano @BPNYC/TOKIO NY いかなる方法によるコピー、配布、または商業的使用は禁止されており、Erica Synthsによる書面による許可が必要です。 仕様は予告なしに変更されることがあります。 ご質問がある場合は、www.ericasynths.lv または info@ericasynths.lv まで電子メールでお気軽にお問い合わせください。